

## 「NPT 再検討会議」被爆者活動支援募金のご報告 ～全国48生協から1,500万円以上が寄せられ寄付しました～

### 日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：本田英一）は、2020年NPT再検討会議<sup>※</sup>における被爆者の支援を目的とした募金「被爆者活動支援募金」を全国各地の生協に呼びかけ、48生協から1,562万8,271円が寄せられました。

※5年に1度、核兵器不拡散条約（NPT）の運用状況について検討するために行われる条約締結国による国際会議

全国各地の生協を通じて日本生協連に寄せられた募金は、日本原水爆被害者団体協議会（略称：日本被団協）に2020年4月30日付で送金・寄付いたしましたことをご報告します。

日本被団協 木戸季市事務局長からは、「多額の募金ありがとうございました。心からお礼申し上げます。私たちは、いかなる状況のもとでも、『ふたたび被爆者をつくるな』と訴えつづけます。核兵器をなくし、人類を破滅から救うために共に頑張りましょう」とのお言葉をいただきました。日本生協連 藤井喜継専務理事は「国際情勢が不安定感を増しています。こんな時だからこそ、被爆の実相を伝え、核兵器の廃絶を訴えていくことが大切です。また、被爆75年目を迎え、若い世代へ継承することにも力を入れていきます。日本被団協と共に頑張ってください」と述べました。

全国各地の生協では、被爆者活動支援募金への呼びかけの他、核兵器廃絶をテーマにした学習会を開催しました。また2016年から核兵器廃絶に向けた市民社会の想いを伝える「ヒバクシャ国際署名」に取り組んでおり、2020年3月末までに47都道府県・240生協から267万2,148人分の署名を集約しました。



パルシステム連合会 平和学習会



コープしが ヒバクシャ国際署名の呼びかけ

日本生協連では、これからも全国各地の生協・組合員と共に平和の取り組みを通じて、核兵器の廃絶と、平和な社会の実現を目指してまいります。

#### 記

#### 1. 期間

2019年4月10日～2020年4月10日

#### 2. 募金額

1,562万8,271円

#### 3. 寄付先

日本原水爆被害者団体協議会

以上

<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部 鈴木・近藤

TEL : 03-5778-8106 E-mail : [pr@jccu.coop](mailto:pr@jccu.coop)

◆ご参考：被爆者活動支援募金の取り組みの背景

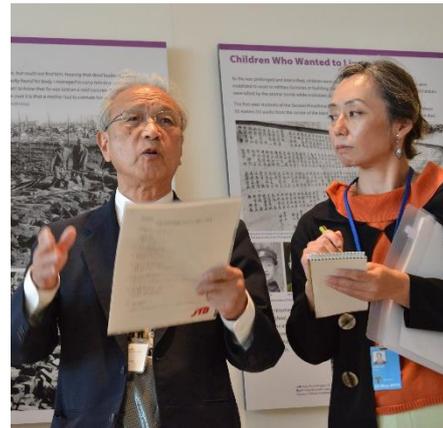
生協では「平和とよりよい生活のために」というスローガンのもとで、幅広い消費者・市民の活動として平和の問題に取り組んでいます。その取り組みの一つとして、2005年NPT再検討会議より日本被団協と生協の共同代表団をニューヨークに派遣しています。

2020年4月末から予定されていた「NPT再検討会議」においても、被爆者が「国連での原爆展」「学校などでの被爆の証言活動」「各国政府代表部への要請行動」等を行うために、「被爆者活動支援募金」を全国各地の生協にて呼びかけるとともに、現地で被爆者のサポートをする活動を予定していました。

今年は、終戦・被爆75年の節目の年です。日本生協連では、若い世代や今まで関心の薄かった方にも被爆の実相や核兵器廃絶の想いや願いを伝え、全国の生協関係者や市民と共に、被爆者の方の悲願でもある核兵器廃絶への歩みを進めていきます。



国連本部ロビーでの原爆展



原爆展 被爆の証言